

日時 令和6年

10月12日(土)

【午前の部】10:00～12:00(開場 9:30～)

【午後の部】14:00～16:00(開場 13:30～)

会場 宇田川公民館

米子市淀江町中西尾466

※駐車スペースが限られています。出来るだけ乗り合わせてお越しいただくか、淀江町巡回バスどんぐりコロコロの利用をご検討ください。

東大人文・淀江プロジェクト  
第3回 市民講座

参加費  
無料

※要事前申込

各回定員  
100名

# 一から学ぶ 上淀廃寺の基礎知識

## ふるさと淀江の宝を学ぼう

金堂内部の復元  
上淀白鳳の丘展示館(米子市淀江町)

講師 佐古和枝氏 関西外国語大学 教授

鳥取県米子市出身。1992年より関西外国語大学で考古学を教える。NPO法人「むきばんだ応援団」副団長として米子市妻木晩田遺跡の普及活用に取り組む。

現在、文化庁文化審議会第一及び第三専門調査会専門委員、長崎県文化財保護審議会委員、山口県文化財保護審議会委員、特別史跡跡ノ辻遺跡調査指導委員など。主な著書は、「吉野ヶ里～繁栄した弥生都市」、「ようこそ考古学の世界へ」、「海と山の王国～妻木晩田遺跡が問いかけるもの」ほか多数。



### 内容

淀江は、古代遺跡の宝庫です。なかでも上淀廃寺は、法隆寺と並ぶわが国最古の壁画をもつ寺院として、全国的に有名です。しかし、そのことにどういう意味や価値があるのでしょうか。今回は、上淀廃寺が建った頃のこの国の様子、各地に寺院が建ち始めた背景、寺院と壁画、上淀廃寺の特徴など、上淀廃寺理解のための「イロハのイの字」からおさらいし、淀江に上淀廃寺が建立されたことの意義を考えてみましょう。

### 東大人文・淀江プロジェクトとは

1901年日本の考古学・人類学の草分けと評される坪井正五郎氏(東京帝国大学教授)は淀江町を訪ね、本州唯一の石馬に注目しました。また、長者ヶ平から発見された金銅製冠は、今も東京大学に保管されています。そのような縁もあって、東京大学文学部に、令和4年から当面5年間の予定で立ち上がった淀江研究のプロジェクトです。令和4年7月にスタートアップ・シンポジウム、令和4年11月と令和5年1月に市民講座、令和5年3月に特別講座、令和6年1月に第2回シンポジウムを開催しました。

申込み方法 ※9/8(土)9時から先着申込受付開始

電話・FAX・メール等で

- ① 代表者お名前
  - ② 代表者ご連絡先電話番号
  - ③ 参加希望時間
  - ④ 参加希望人数(代表者含む)を添えて
- 米子市淀江文化センターにお申込みください。

- 電話 0859-39-4050
- FAX 0859-39-4051
- Eメール saname@yonagobunka.net
- メール申込フォームQRコード



<開館時間> 9:00～22:00

<休館日> 毎週水曜日

※お申込み締切 令和6年10月10日(土)

主催 東大人文・淀江プロジェクト

【東大問い合わせ先】 プロジェクト室(佐藤) ☎03-5841-4046 hsato@l.u-tokyo.ac.jp  
事務担当(瀧口) ☎03-5841-4028

共催 米子市、一般財団法人 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]

後援 鳥取県、NPO 法人 むきばんだ応援団、「古代淀江ロマン遺跡回廊」推進会議